

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		町内会長とは普段から交流があるが、地域の方々が施設に足を運んで下さる機会はほとんどない。	日頃から地域行事等で近隣の方々と交流を深めるとともに、施設イベントなどを通じて気軽に足を運んでいただけるように努める。	・地域の行事には積極的に参加する。 ・施設内でのイベントは近隣の方々にチラシ配布やごあいさつで周知をはかり、気軽に参加していただけるようにする。	12ヶ月
2		グループホームは2階であり入口のすぐ近くに階段があるため、危険防止のため一日中施錠してある。身体拘束にあたるのではないかという意見は出ているが、話し合いが持たれたことはない。	利用者様の安全を確保したうえで、入り口を施錠しないで済む方法を検討する。	・身体拘束廃止委員会を設置する。 ・定期的に利用者様の心身状況、職員の勤務体制などを考え合わせ施錠を介助する方向に向けて話し合いを持つ。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。